

## 第12回 信州登山案内人試験【共通問題】

各設問の解答を、解答用紙に記入すること。

(信州登山案内人条例、長野県登山安全条例)

問1 長野県登山安全条例の第8条に規定されている登山ガイドの役割に関する記述のうち、誤っているものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 山岳遭難の未然防止並びに山岳遭難者の捜索及び救助に努めるものとする。
- (イ) 山岳に係る地理的及び自然的特性等並びに山岳に関する知識の習得に努めなければならない。
- (ウ) 県、市町村、山岳遭難防止対策協会等と連携し、登山者等に対する安全な登山のための情報の提供に努めるものとする。
- (エ) 登山者に対して山岳の魅力を伝えるとともに、登山者の安全確保に努めなければならない。

問2 信州登山案内人条例の目的に関する記述について、正しいものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 長野県の観光振興に寄与すること。
- (イ) 登山等を行う者の本県への来訪及び滞在を促進すること。
- (ウ) 山岳県にふさわしい登山の安全対策を総合的に推進すること。
- (エ) 登山を安全に楽しむための施策の基本となる事項等を定めること。

問3 長野県登山安全条例に規定する登山計画書の届出等に関し正しいものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 長野県の山岳を登山しようとするときは、あらかじめ、登山計画書を策定し知事に届けなくてはならない。
- (イ) 株式会社ヤマップ、公益財団法人日本山岳協会、長野県と隣接する県にある行政機関のいずれかに登山計画書を届け出た場合は、知事に届け出たものとみなす。
- (ウ) 登山計画書を提出する指定登山道は、指定登山口から山頂等までの区間をとし、整備されていない登山道も区間に含まれるものとする。
- (エ) 複数の者により構成される集団が同一の行程で山岳を登山しようとするときは、当該集団を構成する者がそれぞれ届け出をしなければならない。

問4 信州登山案内人条例の規定について誤っているものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 有効期限後も信州登山案内人になろうとする者は、更新の登録を受けなければならない。  
また更新の登録を受けようとする者は、有効期限の満了日までに知事が指定する研修を受けなければならない。
- (イ) 信州登山案内人の登録証を他人に貸与する場合は、あらかじめ知事の許可を得なければならない。
- (ウ) 信州登山案内人の登録の有効期限は、3年とする。
- (エ) 未成年者でも知事の許可を受けることにより、信州登山案内人となる資格を得ることができる。

問5 登山を安全に楽しむためのガイドラインにおける記述について間違っているものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 日帰り登山でもヘッドランプ、地図、コンパス、レインウェア、ツェルト、十分な水を準備すること。
- (イ) 動植物や石などを持ち帰る場合は必要最小限度とすること。
- (ウ) 火山へ登山する場合に入山規制等がある場合は、事前に市町村に許可を得た上で登山をすること。
- (エ) 余裕のある行動時間を設定し、暗くなる前に目的地に到着すること。

(自然公園)

問6 次の文中①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

1. 長野県は、全国に23座ある3,000m峰のうち  座を有している。  
(ア) 12 (イ) 15 (ウ) 18 (エ) 21
2. 自然公園法は、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、  に寄与することを目的としている。  
(ア) 山岳文化の伝承 (イ) 希少動植物の保護 (ウ) 国土保全機能の向上 (エ) 生物多様性の確保
3. 環境大臣は国立公園について、都道府県知事は国定公園について、当該公園の景観を維持するため、特に必要があるときは、公園計画に基づいて、特別地域内に  を指定することができる。  
(ア) 特別保護地区 (イ) 利用調整地区 (ウ) 風景地保護地区 (エ) 第1種特別地域
4. 自然公園法で定める自然公園には、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園があるが、長野県内の国立公園は  である。  
(ア) 4ヶ所 (イ) 5ヶ所 (ウ) 6ヶ所 (エ) 7ヶ所
5. 長野県内の自然公園(国立公園、国定公園、県立自然公園)の面積は、県土面積の約  パーセントを占めている。  
(ア) 5 (イ) 10 (ウ) 15 (エ) 20
6. 「重要な地形・地質とそれに付随する文化」を対象とする日本ジオパークと、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」を目的にしているユネスコエコパークの両方に登録されているのは、  
 である。  
(ア) 志賀高原 (イ) 北アルプス (ウ) 南アルプス (エ) 苗場山麓
7. 長野県自然保護レンジャーは、自然公園等の保護や  並びに自然環境の保全に関する意識の高揚を図るために置かれている。  
(ア) 森林の伐採 (イ) 適正な利用 (ウ) 野生鳥獣の捕獲 (エ) 遭難者の捜索
8. 狩猟が認められないなどの規制がある、環境大臣が指定する国指定鳥獣保護区は、県内に浅間鳥獣保護区と  鳥獣保護区がある。  
(ア) 苗場山麓 (イ) 志賀高原 (ウ) 北アルプス (エ) 南アルプス

9. 中部北陸自然歩道は、中部北陸地域のすぐれた風景地を歩くことにより、沿線の豊かな自然環境や自然景観、さらには歴史や文化に触れ、親しむためのみちで、中部北陸地域の8県（群馬県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、滋賀県）を結んで整備された長距離自然歩道で、長県内には34コースあり、総延長は約  kmである。

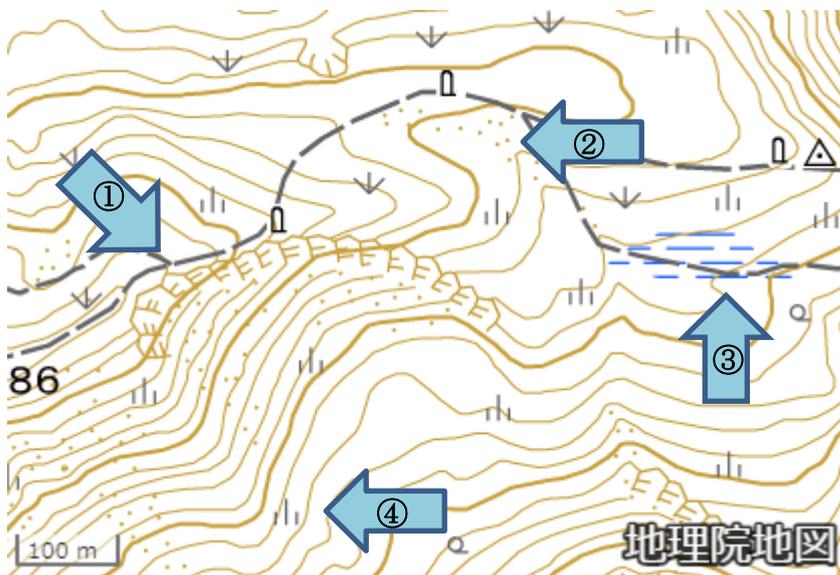
(ア) 555 (イ) 666 (ウ) 777 (エ) 888

10. 御岳県立公園において、2014年（平成26年）9月の噴火災害を契機に「いのちを守る」「火山を学ぶ」「自然とふれあう」ことを主な目的とし、人と自然をつなぐ拠点となるよう御嶽山ビジターセンターが建設された。このビジターセンターの呼称は  である。

(ア) やまテラス星空 (イ) やまテラス田の原 (ウ) やまテラス王滝 (エ) やまテラス御岳

(読図)

問7 次の地図のア～エで示している地図記号は、それぞれ何を表しているか記入しなさい。



①	②	③	④

問8 次の文章が正しければ○、間違っていれば×を付けて答えなさい。

- ①川（谷）の右岸・左岸とは上流に向かって右・左の谷のことである。
- ②コンパスを使用する際は、近くに金属が無いことを確認してから使う。
- ③磁針方位は、日本国内でも場所によって違いがある。
- ④2万5000分の1地形図では、地図上の5cmが実際の1kmになる。
- ⑤2万5000分の1地形図では、10メートルごとに計曲線が引かれている。
- ⑥整置とは、地図上の方角とコンパスの方角を合わせることをいう。

(植物、植生)

問9 次の文中①～⑤にあてはまる用語を記入しなさい。なお②および③の設問には、一桁の数字が入ります。

1. 山に登り標高が高くなると徐々に気温が低下し、それに伴って植物の種類や群落が変化する。植物のまとまりである植生の垂直な分布帯を植生帯といい、植生の相観などをもとに下方から低山帯、山地帯、 帯、高山帯などに分けられる。
2. 長野県の森林は、県土の約  割を占めており、その面積は全国都道府県で  番目と広い。低山帯から山地帯には、人工林(植林)が多く、人工林では  林の割合が最も多い。
3. 中部山岳では標高2,500m前後に、低温や風当たりの強さなどの気象条件により高木林が成立できなくなる限界の  があり、その上部に高山帯の植生が発達する。

問10 次の文中①～⑤にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

1. 長野県では県内の希少な野生動植物の保護対策を推進するため、長野県希少野生動植物保護条例で指定希少野生動植物を指定している。高山植物のうち、 にのみ分布するコマウスユキソウ(別名ヒメウスユキソウ)や、亜高山帯の針葉樹林の林床に生える野生ランの  は、この条例の特別指定希少野生動植物となっている。
2. 中部山岳域の高山植物の多くは、北極海周辺など北方に由来する植物が、氷期に日本列島まで南下した後、間氷期の温暖化にともなって山岳地の上部に避難し生き残ったもので、世界的な となっているものも多い。
3. 長野県では、近年、ニホンジカが高山帯に進出するようになり、貴重な高山植物が食害を受ける一方、 などのニホンジカが忌避する植物が繁茂する様子がみられる山岳もある。
4. 上高地では、外来植物エゾノギシギシとその近縁在来種ノダイオウとの  が生じているとされ、外来植物が登山者等によって保護地域等に持ち込まれ、定着しないように注意する必要がある。

<選択肢>

- (ア) マルバダケブキ (イ) 木曾山脈(中央アルプス) (ウ) ネバリノギラン  
(エ) 分布北限 (オ) 赤石山脈(南アルプス) (カ) 貴重種  
(キ) ニッコウキスゲ (ク) ニホンジカ (ケ) ホテイラン (コ) 分布南限  
(サ) クガイソウ (シ) 固有種 (ス) 八ヶ岳 (セ) スズラン (ソ) 雑種

(動物(鳥類、昆虫類含む))

問 11 次の文中①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 中部山岳域の高山帯には、氷期に大陸から移入して生き残った動植物が生息する。このうち①は、冬に羽根が白く、雪解けとともに夏羽に生え変わることで知られる。①を襲う天敵は、②、キツネなどである。
2. 高山植物の花々には、寒冷な環境に適応したハナバチ類である③がよく訪れている。高山蝶とよばれるチョウのうち、④は、北アルプスと八ヶ岳にのみ分布し、それぞれが別の⑤に分けられている。一方、⑥は、さまざまな山域の高標高地で見られる。
3. 大型哺乳類のひとつである⑦による摂食は、高山植物や草原の野生植物に大きな被害をもたらしている。草原の植物のひとつであるクガイソウを食草とする⑧は、かつて長野県の各地に多く見られたが、近年は⑦によるクガイソウの採食圧などにより生息域が大きく減少している。
4. ⑨は、2020年の夏に上高地のキャンプ場でテントを引きずり、これを引き裂いて中にいた宿泊客にけがを負わせた。この個体は人身事故の数週間前から残飯などの人為由来の食物を摂取していた。このような人身事故を防ぐためには、宿泊施設やキャンプ場での⑩や食べ物の徹底管理が必要である。

< 選択肢 >

- (ア) ヒグマ (イ) カモシカ (ウ) ツキノワグマ (エ) ニホンジカ (シカ) (オ) タヌキ  
(カ) テン (キ) ヤマネ (ク) 属 (ケ) 科 (コ) 亜種 (サ) ミツバチ  
(シ) アシナガバチ (ス) マルハナバチ (セ) 騒音 (ソ) 生ごみ (タ) たき火 (チ) ヒバリ  
(ツ) ライチョウ (ニホンライチョウ) (テ) ホシガラス (ト) オオルリシジミ  
(ナ) ベニヒカゲ (ニ) タカネヒカゲ (ヌ) オオムラサキ (ネ) コヒョウモンモドキ

(気象、天気図)

問 12 次の文中①～③にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

10月下旬から11月上旬の晴天は、秋の①高気圧によるもので、天気は周期的に変わることが多い。②前線が日本を通過する場合は、標高の高い山ではいつ雪が降ってもおかしくない。

また、台風にも気をつけたい。この台風は、熱帯低気圧のうち中心付近の最大風速が③ m/s 以上になったものである。

< 選択肢 >

- (ア) 停滞 (イ) 梅雨 (ウ) 温暖 (エ) 25 (オ) オホーツク海  
(カ) 移動性 (キ) 寒冷 (ク) 台風 (ケ) 温暖 (コ) 巻積雲  
(サ) 高積雲 (シ) 日本海 (ス) 太平洋 (セ) 12 (ソ) 17

問 13 次の説明文にあてはまる気象現象等を記入しなさい。

- ①太陽の光が見る人を通り越したところにある雲や霧に散乱され、見る人の影の周りに虹色の輪ができること。
- ②地球を取り巻くように、中緯度で吹いている強い西風。
- ③南北対になって現れる低気圧。本州を中心に日本海と太平洋に現れることが多い。
- ④高い山の上や飛行機から低いところを見たとき、一面に雲が見えるさまが海のように見える現象。

問 14 次の天気記号は、それぞれ何を表しているか記入しなさい。

①



②



③



(ガイド、登山の常識)

問 15 次の分中①～②にあてはまるものを選択肢から1つ選び、記号を記入しなさい。

標高が100m上がるごとに気温は約  下がり、風速が秒速1 m強まると体感温度は約

下がるため、常に低体温症などのリスクに備えて防寒具は常備しておきたい。

(ア) 0.3℃ (イ) 0.6℃ (ウ) 1.0℃ (エ) 1.2℃

問 16 次の文中①～②にあてはまる用語を記入しなさい。

岩場や鎖場を通過する際には、人間の四肢のうち、常に3点で支え、残りの1点だけを動かして移動する  が基本。危険個所ではロープを使い、顧客の安全確保を図る。ロープでの確保のうち、岩場や山稜などの難所にロープをセットし、自分(顧客)の体に装着しているハーネスと結んで安全確保を図る方法を  という。

問 17 登山地図アプリについてそれぞれ正しいものには○、誤ったものには×を付けて答えなさい。

- ①YAMAP やヤマレコなどの登山地図アプリは、地図は圏外(オフライン)でも利用でき、方位も現在位置も簡単にわかるので、紙の地図に代わるものとして積極的な使用が推奨されている。
- ②一部の自治体や警察では民間事業者と協定を締結し、登山者は登山地図アプリを通じて手軽に登山届(登山計画書)を提出できるようになった。令和5年3月末時点で長野県とそれに隣接するすべての県ではYAMAP及びコンパスと協定を締結し、オンラインでの提出が可能である。
- ③山岳遭難者の現在位置の把握に一部の登山地図アプリが活用されているが、オンラインでかつ「登山を開始(スタート)」して軌跡を記録していなければ運営会社や警察で位置情報の取得はできない。

問 18 次の文中①～③にあてはまる用語を記入しなさい。

登山は、自分の身は自分で守る [ ① ] が原則である。しかし、山岳ガイドやツアーガイドと客など特別な関係がある場合は、ガイドなどに客（参加者）の [ ② ] 義務が生じる。2006年10月に、白馬岳を目指したガイド登山で、悪天候のために客4名が死亡した事故では、裁判所は登山を中止するなど必要な措置をすべきだったとして、山岳ガイドの [ ③ ] 責任を認めている。

(セルフレスキュー)

問 19 登山時における病気やけが、安全に関連して、次の文中の①～⑩にあてはまる用語を記入しなさい。

1. 高温下で活動しているときなど、体温の上昇に身体のクーリング機能がおいつかなくなり、体内に熱がこもった状態になるのが [ ① ]。水分をこまめに摂取して、脱水を避けることが予防になる。
2. 傷病者が意識を失っていると、舌根が沈下して [ ② ] がふさがれ、窒息してしまう恐れがあるので、 [ ② ] を確保するようにする(同じ言葉が入る)。
3. [ ③ ] にならないようにするために、ゆっくり高度をあげたり、水分を多めにしたりすることに気を付けるようにする。
4. 大量の汗をかいて水分と [ ④ ] が失われると、筋肉中の電解質のバランスが崩れ、 [ ⑤ ] を起こすことがある。登山の場合、ふくらはぎや太ももの筋肉でよく起こる。
5. 岩場や雪渓などの難所では、転倒・滑落や落石に備えて、 [ ⑥ ] を着用すること。
6. 遭難時の通報の約8割が携帯電話利用となっている。携帯電話は、写真の撮影や地図アプリなどを活用することも多いので、併せて [ ⑦ ] を携行すると良い。
7. 火山への登山をする際は、登山前 [ ⑧ ] を確認し、入山規制等がある場合は厳守するとともに、規制等にかかわらず、登山中は [ ⑧ ] を収集すること。(同じ言葉が入る)
8. 雷鳴、雷雲が確認された場合は、できるだけ [ ⑨ ] 場所に避難して身を低くすること。
9. 登山用ストックは、バランスを補助するためのものとして使うようにする。急斜面やガレ場、岩場の下りでは、ストックに頼るとバランスを崩しやすく、かえって危ない。なお、登山道や植生保護のため、ストックの先端には [ ⑩ ] をすること。